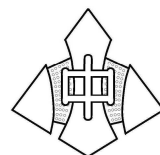


手をたずさえて

“KOHARADA WAY” 自分に打ちかて

- 心身ともに健康で明朗な生徒
- 自主的に学習する生徒
- 責任を重んじ協調性のある生徒



令和2年10月8日(木)発行

【発行責任者】郡山市立小原田中学校長 熊坂 洋

“音楽の力” ～ 感染集中の街、響いたヴァイオリン 病院屋上から届けた音～

今年の4月にイタリア北部の都市クレモナ在住の日本人ヴァイオリニストの横山令奈さんが地元の病院の屋上で演奏し、その様子がYouTubeなどを通して世界中に流れ、大きな感動の渦を巻き起こしたのは記憶に新しいことです。この映像を観た人も多いと思います。

ヴァイオリンの世界的名器を生んだストラディバリが17～18世紀に活動したイタリア北部クレモナで4月16日、ヴァイオリンの調べが響き渡りました。新型コロナウイルス患者への治療の最前線となっている病院の依頼で、横山令奈さんが病院の屋上から演奏しました。医療従事者への感謝と、患者たちが再び音楽や芸術を楽しむ日が来るよう祈りを込めた演奏でした。

横山さんが16日夕、愛用のヴァイオリンを手に、約30mの高さにある病院の屋上に立つと、町のシンボルとなっている高さ112mの鐘楼が夕日を受けて浮かび上がりました。横山さんは、住み慣れた美しい町の情景に感動する一方、足元に見える病院の敷地には新型コロナウイルスに感染した患者を隔離する白いテントが広がっていました。人口約36万人のクレモナでは4月15日までの死者が872人に上り、感染者は5千人を超えていました。感染拡大のスピードは落ち着いてきていましたが、横山さんの演奏中にも救急車がサイレンを鳴らし、病院に到着していました。



演奏はスピーカーを通して病院の周辺地区に届けられましたが、病院では防護服姿の医師や看護師が窓を開けたりベランダに出たりして、美しいヴァイオリンの調べに聴き入っていました。そして、曲が終わるたびに大きな拍手と歓声が上がりました。

横山さんは演奏後、新聞社の取材に対して、「演奏家は、人の心に直接語りかけられるからこそ、いま何ができるのか考えてきた。マイナスなことを考えてもきりが無いが、生の音楽が人の心に響き、少しでも勇気を持ってもらえたらうれしい」と話しました。

あの東日本大震災の時もそうでしたが、苦境に立たされた時、困難な状況に陥った時、“音楽の力”で救われた人は数多くいます。また、戦いに挑む時、心安らぎたい時、音楽は我々に勇気や癒やしを与えてくれます。我々の生活に音楽は欠かすことのできないもので、目に見えない大きな力を持っています。

“音楽の力”を“学級力”に繋げる～合唱コンクールへのラストスパート!!

コロナ渦にある今年度の友垣祭は、合唱コンクールを中心とした文化祭となります。毎年感じますが、クラス合唱には不思議な力があります。合唱部の合唱とは違って未熟で洗練されていない部分も多くあります。しかし、クラス合唱には専門集団の合唱にはない味わいがあります。苦しみ悩みながらも、ひとつの合唱曲を学級の仲間と創り上げていくところに価値があり、合唱を通して学級がどれだけまとまり成長することができたのか、そこがとても重要です。

各学年のリハーサルの合唱を聴きましたが、どのクラスもまだまだ伸びる余地があります。そのクラスの個性が感じられ、味わいがあり、聴く人の心に届く合唱を実現するために今一番大切なことは、一人一人が合唱、そして日々の練習にどれだけ真剣に向き合うことができるかどうかです。練習時間に遅れたり、練習に真剣味がなかったりする姿はそこにはないはずですが、合唱コンクールに向かってラストスパートです。そして、“音楽の持つすばらしい力”を“学級力の向上”にぜひ繋げてほしいと思います。11のクラス合唱、大いに期待しています。



先輩からの学びを大切に… 教育実習生頑張っています！



9月28日より本校卒業生の會田佳織さんが教育実習を行っています。教科は数学科で、担当学級は1年4組です。會田さんは中学校、高校と吹奏楽部に所属しクラリネットを吹いていたそうです。中学校時代、あの東日本大震災直後の入学式は音楽室で行われたそうです。また、その年の9月には集中豪雨の被害により、校舎の1階部分が浸水してしまったそうです。中学校では自然災害により大変な想いをした経験をもっています。今の我々に相通じるものがあります。本県で教職に就くことを目標としている會田さんには、

10月16日までの実習期間の中で、将来の自分の糧となる経験を積んでほしいと思います。そして、生徒達には會田さんからの中学校時代の話やアドバイスなど、先輩からの学びを大切にしてほしいと思います。

トイレの洋式化工事完了しました！

8月から始まったトイレの洋式化工事が10月2日で完了しました。11月までかかるとされていた工事でしたが、約1ヶ月早く完了したことになります。今週から全てのトイレが使用可能となりました。きれいに大切に使用してください。工事関係者の方々には大変お世話になりました。



保護者の皆様へ

10月6日（火）には第3回PTA役員会が開催されました。年度の折り返し点を迎え、今後のPTA活動の見通し、予算の執行状況、役員選考、60周年記念事業等についての話し合いが行われました。9月5日に実施されたPTA奉仕作業が、今年度最初のPTA活動となりました。今後も新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、可能な活動については実施していく方向で取り組んでいくことが確認されました。お忙しい中お集まりいただいた役員の方々に感謝いたします。

■ 10月16日（土）開催の「友垣祭」は、合唱コンクールを中心とした文化祭となります。また、先にお知らせしましたとおり3年生の保護者の方々には観ていただく機会を設定しました。当日は検温等の健康観察（発熱等の風邪の症状のある場合の参加はできません）及びマスクの着用をお願いいたします。

■ 12月4日（金）に予定されていた「芸術鑑賞教室」について、首都圏等から外部の人材を招くこと、冬場を迎えること等のリスクを考慮し中止としました。なお、この日には今年度最初の「授業参観・学年懇談会」を実施します。当日は検温等の健康観察（発熱等の風邪の症状のある場合の参加はできません）及びマスクの着用をお願いいたします。1・2年生は学級担任の授業を参観していただきます。

■ 今年度の諸会費の集金について、本市の給食費の補助、PTAの諸活動や部活動の大会等の中止により、給食費・PTA会費・生徒活動後援会費の集金を減額いたします。役員会での了承を得ましたので、本日生徒に文書を配付しました。詳細につきましては、文書でご確認をお願いいたします。



新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をお願いします

8月以降本県において感染経路が不明の陽性患者が増加傾向にあり、本市でも毎日のように陽性患者が確認され、心配される状況が続いております。さらに、家庭内感染も問題視されています。学校においても、気を緩めることなく感染防止対策に取り組むことはもちろんですが、ご家庭でも感染防止対策のさらなる徹底をお願いいたします。

- ① 登校前の検温及び風邪の症状等の確認を忘れずにお願いします。
- ② 手洗い・手指消毒、マスクの着用、咳エチケット、こまめな換気などの感染症対策を確実に行うようお願いします。特に外出時のマスクの着用（不要の外出や人込みは避ける）、学校や外出先からの帰宅時の手洗い・うがいは必ず行うようお願いします。
- ③ 発熱等の風邪の症状や体調に異常を感じた場合、無理をせず欠席させてください。出席停止扱いとなります。併せて、同居家族に発熱等の風邪の症状があり、生徒に感染の不安がある場合には、生徒を出席停止扱いとできます。